

人空羽衣遠

③

ポーランド点描新聞
日本文化再発見特集

薫り高い芸術文化 シヨパン国際ピアノコンクール

ピアノリストの登壇、フレデリック・ショパン国際ピアノコンクールは、5年に一度、ワルシャワのフィルハーモニーホールで開催される。今年7月から9月にかけて行われる3回目の予選出場者30名がふるい落とされ、シヨパンの命日（10月17日）前後に開かれる最終選に出場できるのは10人ほどです。は、10人ほどの出場者が出たとしても入賞は難しいだろうと超難関なものです。

2009年ヴァン・クライバーン国際ピアノコンクールで優勝した辻井伸行さんも、2005年のコンクールでは審査員特別賞でした。ショパンコンクール大勢の若者が出場します。入賞して世界で活躍している日本人ピアニストもたくさんいます。2005年の第15回コンクールでは、300名近い出場者のうち80数名が日本人が4位、最終的に2人が4位に入賞しました。とって一般の日本人は

なじみの薄い国ですが、唯一、ピアニストにとつてはとても関心の高い国なのです。あるポーランド人はこう言っています。「日本人がなぜあのようにならなければならないのか、ポーランドの人々は驚きと賞賛をもつて見つめています。日本の文化は異なるものの奥にある共通性というものを感じています。」



ポーランドの祝日（赤字は休日）

- 1月1日 元日
- 1月6日 3人の博士の日
- 1月21日 おばあちゃんの日
- 1月22日 おじいちゃんの日
- 4月8・9日頃 復活祭（イースター）
- 5月1日 メーデー
- 5月2日 国旗の日
- 5月3日 憲法記念日
- 5月26日 母の日
- 5月27日頃 聖霊降臨祭
- 6月1日 子供の日
- 6月11日頃 聖体祭
- 6月23日 父の日
- 8月15日 聖母被昇天祭
- 11月1日 諸聖人の日
- 11月2日 死者の日
- 11月11日 独立記念日
- 12月6日 ฌタクローズの日

シヨパンの生家

ワルシャワから西に車で1時間、小さな村ジェラズノボ（Jelazno）には、ショパンの生家は残っています。直に夏がながく、日本でも便からのみならず、観光客の訪れも増えています。日本人の観光客は、この庭園に



記念碑があり、毎日一室が開放されます。

ポーランド語

ポーランド語はポーランドの国語で、ポーランド国外を含め、約4800万人の話し手を持っています。スラブ語族に属しますが、文字はロシアなどのキリル文字ではなく、ラテン系のアルファベットです。遠く離れたクロアチアでも一部同じ言葉があります。

ポーランド語は動詞はもちろん普通名詞や固有な単語まで語尾が変化します。従って、夫婦でも姓の末尾が異なります。ポーランド人では、小学校時代に特訓が必要なので、発音がめっちゃ難しいのです。音が2・3文字（最高は5文字）連続している場合は発音が更に微妙になるのです。が、日本語の片仮名で表そうとすると同じ文字の綴りになっってしまう。よく使う言葉で特に注意したほうがよい言葉に「bosna」（ブロシェン）「ちよっとすみません」とか「どうぞ」と、声を掛けるときの言葉があります。実は、赴任後かなり経ってから知ったのですが、よく似た単語で「bosia」（ブロン）「幼児言葉の（子豚ちゃん）」というのが、あるらしいのです。レストランでウェイトレスを呼ぶときに「ブロンシェン・パーニ（パーニは女性への敬称）」と声をかけられるのですが、もしかすると「子豚お嬢さん」と聞こえていたのかもしれない。手遅れですが。



民族舞踊

ワジェンキ公園は市街地のほぼ中心にあり、気軽に行ける公園として多くの人が親しまれています。園内の野外劇場では夏の間に、オーケストラのほかに民族舞踊の公演も行われます。色鮮やかな民族衣装の女性たちの歌から始まり、着飾った男女が舞台狭しと華麗な踊りを披露します。コサックダンスに似た激しい踊りや山岳地帯の木こりダンスのような踊りもあります。



ポーランド語の特徴

- ① 難しい発音（連続子音）
- ② 抑揚は少ない
- ③ 複雑な文法（名詞も活用する）
- ④ 敬語がある
- ⑤ 男言葉女言葉がある

ポーランドの偉人

★ニコラウス・コペルニクス

ニコラウス・コペルニクス（1473年〜1543年）はポーランド出身の天文学者です。当時主流だった地球中心説（天動説）を覆す太陽中心説（地動説）を唱えました。これは天文学史上最も重要な再発見とされています。

★キュリー夫人

マリア・キュリー（1867年〜1934年）はポーランド出身の科学者です。フランス語名はMarie Curie。放射線の研究



で、1903年にノーベル物理学賞、1911年にはノーベル化学賞を受賞。パリ大学初の女性教授職に就任しました。

★シヨパン

フレデリック・シヨパン（1810年〜1849年）はポーランド出身の作曲家・ピアニストです。ピアノの曲は広く親しま



れていますが、活動の主な舞台はパリです。死後、彼の遺言によつて、彼の心臓は故郷ワルシャワの教会に納められました。